

日刊メタルレポート

発行所
株式会社 日刊金属新聞社

本社 大阪市城東区蒲生1-3-7
電話(06)6932-5443 代表
北陸支社 富山市曙町1-30-508号内
電話(076)444-6836

購読料 半年44,100円(前納)3カ月22,050円

大阪亜鉛工業株式会社

取締役社長 林 昭 宏

住友金属・山電・電気亜鉛
蒸溜亜鉛・原料指定問屋
亜鉛ドロ・洋買入

〒555-1 大阪市西淀川区佃四丁目一四番三三
〇〇一 電話(〇六)六四七一一二五三 代表
〒111-1 東京都墨田区立花二丁目四番五号
〇〇三 電話(〇三)三六八一一三五 一 二番

輸出はスクラップ一・五%減 新地金と合金スクラップ急増



橋本健一郎氏

橋本金属・アルミ橋本健一郎氏リポート②

【概況】九月前半、欧州懸念再燃の中、ドイツの鋳工業生産が一〇%増(前月比)だったことやイタリヤ債購入に関して中国が購入を検討などプラス材料があったものの、ドイツ国内でギリシャ救済に対する正当性に関する訴えがあったことや、米FOMCで第三弾金融緩和(QE3)に関して具体的なコメントがなかったことを嫌気し、LMEアルミ相場は二、三・一ドルと約一〇〇ドル下げたの前半締めとなった。後半、ドイツのメルケル首相がギリシャ救済に関して積極的なコメントを発表、またECB、FRB、日銀が各中央銀行と連携しドルの無制限供給を行うなどプラス材料もあったが、中国の不動産価格の上昇およびHSBCのPMI(製造業担当者指数)の減少による中国景気停滞懸念、FRBの米景気下振れリスクに関するコメントから世界景気後退懸念が台頭し、十月一日現在、LMEアルミ相場(現物相場)は二、一三・二ドルと二〇〇ドル弱下落の波乱スタートとなった。

【前月の経済指標】

- ◆日本自動車工業会によると自動車生産台数は前月比一〇・九%減の七〇万四、六九六台であった。
- ◆日本自動車販売協会連合会によると自動車販売台数(軽除く)は前月比四四・九%増の三万三、七九〇台。
- ◆三月月間の自動車生産計画は昨年対比二・八%増の二七九万四千台(面へ続く)

コデルコ、来年は横バイへ アジアと欧州向け銅割増金

産銅世界最大手のチリ銅公団(コデルコ)のエルナンデス最高経営責任者(CEO)はこの程、ロイター通信に対し、アジアと欧州の顧客向けの銅プレミアム(割増金)について、来年は横ばいとの見方を示した。銅プレミアムは、ロンドン金属取引所(LME)の現物価格に上乗せして支払う金額。昨年の欧州顧客向けの銅プレミアムはトン当たり九八ドル、中国の顧客向けは同一一五ドルだった。

同CEOは、「特にアジアの顧客は、来年も同様の規模の銅を購入する考えだ」と説明。また、欧州では銅プレミアムが下がる可能性があるとの見方を示しながらも、「欧州では多くの問題があるが、交渉している購入数量は昨年とはあまり変わらない」と説明した。

新幹線を支える イチの銅合金インゴット

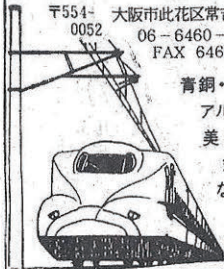
高品質を追求するイチの銅合金地金は
鉄道架線金具に使用され、新幹線やJR
各線の安全運転のお役に立っています

株式会社 イチ

〒554-0052 大阪市此花区常吉2-3-53
06-6460-2246 代表
FAX 6460-2355

青銅・リン青銅
アルミ青銅
美術青銅
鉛青銅
など各種

N700系
のぞみ
(時速300km)



国内原料需給は発生難、需要増

スクラップ相場は小幅下落かLMEア

(二面より続く)

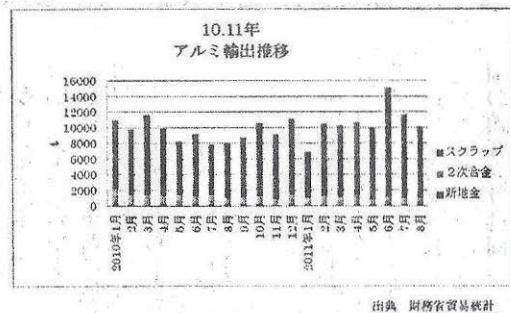
◆新設住宅着工戸数

国土交通省によると新設住宅着工戸数は前月比(季節調整済み)二・二%減(昨年比一四%増)の八万一、九八六戸であった。

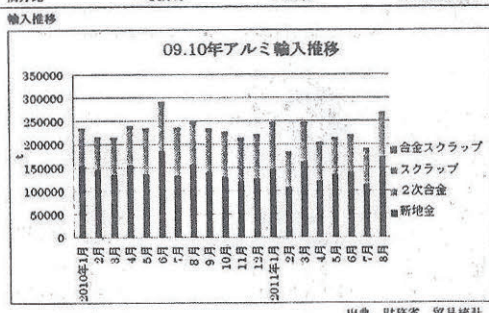
◆貿易関連指標

財務省貿易統計によれば、輸出はアルミニウム合金が前月比一五%増の一六八t、二次合金が五・五%増の八八四t、スクラップが一・五%減の九、〇六九t。

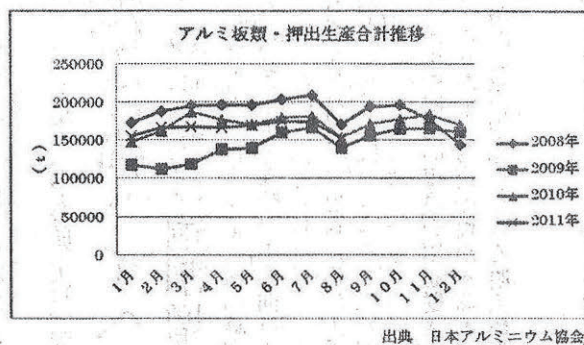
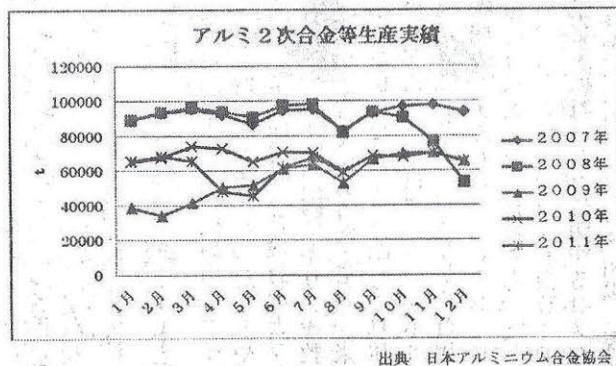
	6月	7月	8月
輸出			
新地金	158 t	148 t	168 t
前月比	-24%	-7.6%	+15%
二次合金	964 t	838 t	884 t
前月比	+53.5%	-13.1%	+5.5%
スクラップ	1400 t	1063 t	906 t
前月比	+52.5%	-24%	-1.5%
輸出推移			



	6月	7月	8月
輸入			
新地金	13万9380 t	11万2685 t	17万1881 t
前月比	+3.6%	-19.1%	+52.6%
二次合金	7万6365 t	7万4021 t	9万1832 t
前月比	+2%	-3.1%	+24%
スクラップ	563 t	601 t	944 t
前月比	-29.4%	+6.7%	+57.1%
合金スクラップ	3078 t	2875 t	4460 t
前月比	-14.7%	-6.6%	+55.1%
輸入推移			



日本アルミニウム合金協会発表のアルミニウム二次合金・同合金地金等生産実績は、前月比一二・七%減の五万九、〇三〇tであった(昨年対比〇・八%減)。(六面に続く)



【前月の国内指標】

日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば、板類・押出生産合計は前月比一二・四%減の一五万二、〇七四t(昨年対比一%減)。

(二面より続く)

【見通し】

今月は自動車販売の急回復による生産・在庫調整の底入りが感じられる月となった。

自動車生産は前月比一〇・九%減の七〇万四、六九六台と減少するも、前年比では一・八%増とほぼ震災前の水準に回復。

また国内自動車販売台数も三十一万三、七九〇台で前月比四四・九%増と急回復、前年比でも一・七%増といよいよ販売低迷も底入りか？

自動車関連のアルミ二次合金生産は、前月比一二・七%減の五万九、〇三〇t。昨年対比は〇・八%減。

仮設住宅による復興需要が見込める圧延・押出し生産数は、前月比一二・二%減。昨年対比一%減と二カ月連続でほぼ昨年程度まで回復。

新設住宅着工数は季節調整前月比二・二%減の八万一、九八六戸。前年比で一四%増と前月に続き大幅改善。

輸入塊は上海シグマが八月末 現在で二、四二〇ドル(マイナス六〇)、ロシア塊は二、三二〇ドル(マイナス五〇)と下落している。

独政 銀行の資本増強行う用意ある

欧州は増強を迅速に決定をメルケ

ドイツのメルケル首相は五日、独政府は必要に応じて銀行の資本増強を行う用意があるとの立場を示すと同時に、欧州全体でも銀行資本増強に関して迅速な決定を行う必要があるとの考えを示した。メルケル首相は欧州委員会のパロゾ委員長との共同記者会見で、現在の市場状況において銀行の資本が十分ではないという一般的な見解があるならば、資本増強を行うことが重要とし、「財務相がここ二日間言明しているように、独政府は必要に応じ、銀行の資本を増強する用意がある」と語った。そのうえで「時間が重要となるため、決定は迅速に行う必要がある」と述べた。独財務省報道官はこの日、ドイツの銀行は資本面では「現時点では良好な状況にある」との見解を示している。

メルケル首相はまた、ギリシャはユーロ圏にとどまり、「再建の機会」を得るべきとの認識を示すと同時に、ユーロ圏全加盟国の議会が欧州金融安定ファシリティー(EFSF)拡充案を承認することが不可欠との考えを示

輸入は自動車生産・販売の回復を受けて新地金・白金スクラップは五〇%増以上と急増。輸出は国内の発生難や内需の回復からスクラップが一・五%の減少となった。

LME価格について、前月とは一転し再び欧州懸念が再燃、さらにはギリシャデフォルト不安まで拡大している。ただLME価格で一〇%以上下落しており、これ以上(二、一〇〇ドル割れ)の下落は新規悪材料が必要であり、現在のファンダメンタルズ(需給)を考えれば、LMEで二、〇〇〇〇二、二〇〇ドルを予測。

アルミ原料需要・価格に関して新設住宅着工数は二カ月連続で上昇(前月比)。さらに前月からは一転、最大の需要家である自動車メーカーの自動車生産台数は前年比一・八%増とついに昨年レベルまで回復。また八月の販売台数が前月比で四四・九%増、前年比でも一・七%増とついに生産・販売とも昨年レベルまで回復した。国内発生難を補うための輸入塊も製品価格の下落により割安感はある、今月の需給は発生難、需要増の供給不足。ただLME価格が下落していることから、九月後半価格から五円程度下落を予測。

し、EFSFの拡充は「国際金融市場に対し非常に重要なメッセージを送ることになる」と述べた。

LME非鉄在庫 (10月5日発表分)

	入庫	出庫	10月4日現在	増減
銅	1,600	1,700	474,925	- 100
GAW	0	0	0	± 0
GAC	1,600	1,700	474,925	- 100
す 鉛	0	60	20,525	- 60
鉛	5,725	575	379,700	+ 5,150
亜鉛	1,700	2,875	814,525	- 1,175
アルミ	1,950	3,600	4,556,600	- 1,650
二次合金	0	0	135,920	± 0
ニッケル	0	1,080	95,382	- 1,080
アルミ二次(NASAA)	40	0	151,400	+ 40

(単位：トン)